

授業概要

社会調査のプロセスにおいて、現地において実際に行う調査活動を総称して「フィールドワーク」という。広義には調査票を用いた量的調査もここに含むが、本講義においては質的調査に重点を置きながら、その意義と方法を学習する。

社会調査においては一般に、企画、設計、実査、データ整理、分析、報告、という手順をふむが、何よりも重要なのは「何をあきらかにしたいか」という問題意識とその質である。本講義においては社会学のフィールドワークや先行研究を参照しつつ、ワーキンググループの問題意識を具体的に立ち上げ、実際にフィールドワーク(学外授業)を行い、データを収集し、分析して、報告をする。その結果を報告書として取りまとめることまでを目的とする。

コロナ禍がどのように進展するか不明なため、不確定要因が大きい。学外授業で現場に直接行くことを基本とし、不参加の場合、単位修得は不可能。学外授業では、言葉遣いや服装なども指定する。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	問題意識とその対象、方法の検討
第3回	本調査の計画立案1
第4回	本調査の計画立案2
第5回	本調査1
第6回	本調査2
第7回	本調査3
第8回	データチェック
第9回	データの文字化1
第10回	データの文字化2
第11回	データ分析1
第12回	データ分析2
第13回	報告準備
第14回	調査結果の報告とディスカッション
第15回	報告書作成
第16回	報告書提出

到達目標

フィールドワークの方法や技法の習得
報告の実施、および、報告書の作成
インフォーマントとの交渉およびラポールの形成を通じた社会性の習得

履修上の注意

本講義はフィールドワークを実際に行い、報告を行うことまでを目的とするため、ⅠとⅡを連続して受講することを必須とする。実際の調査を行うことから、受講者個々人が責任を持って主体的、積極的に関わってほしい。授業形態はゼミ形式を採用する予定だが、状況次第で別の方式になる可能性もある。講義内容の学習が覚束ない場合は、先方に迷惑がかかるため、途中リタイアと判断することもあり得る。

予習復習

設定した自身の調査テーマに則した情報収集結果を毎回報告してもらう。

評価方法

平常点(授業態度と課題への取り組み方等)40%、報告書作成60%

テキスト

テキストは指定しない。必要に応じてプリントを配布する予定である。